

「潤いファイル」について

「潤いファイル」は、特別な支援を必要とするお子さんの出生から高等学校までの成長の様子とお子さんを支援する機関（教育・医療・福祉・保健・労働）で受けた支援の内容（支援計画）を1冊にまとめ、コミュニケーションツール（意志や情報を伝達するための道具）として活用するファイルです。

具体的には、「潤いファイル」を通して保護者がお子さんの情報を伝えることによって、支援機関がお子さんの特性を理解しやすくなり、保護者と支援機関の連携をスムーズにします。また、支援機関の間でお子さんの情報を共有することで理解を深め、より適切な支援を考えていくことができます。

特に、幼児教育機関（幼稚園・幼稚部、保育園、療育機関等）、小学校（小学部）、中学校（中学部）、高等学校（高等部）では、家庭と学校等が協力して個別の教育支援計画（支援シート）を立て、その計画に基づいて具体的な支援を実施します。

このように「潤いファイル」は、高等学校卒業後の生活支援や就労支援につなげ、お子さんの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することをねらいとしています。

また、さいたま市は「潤いファイル」により、教育・医療・福祉・保健・労働の専門機関が連携・協力して、お子さんとそのご家族に対して乳幼児期から学校卒業後まで一貫した相談・支援体制の整備・充実に推進しています。



「潤いファイル」の内容

「潤いファイル」のは、次のような3つのシートで構成されています。

☆ フェイスシート：本人のプロフィールや相談・支援の履歴を記録するシート

☆ 理解シート：お子さんの特性を理解し、教育的ニーズを考えるシート

※ 就学相談において、相談員と一緒に作成します。

☆ 支援シート：教育的ニーズに応じた適切な支援を計画するシート

※ 特別支援学級、特別支援学校等で使用している様式がある場合は、その様式で作成し、ファイルの該当ページにはさんでください。

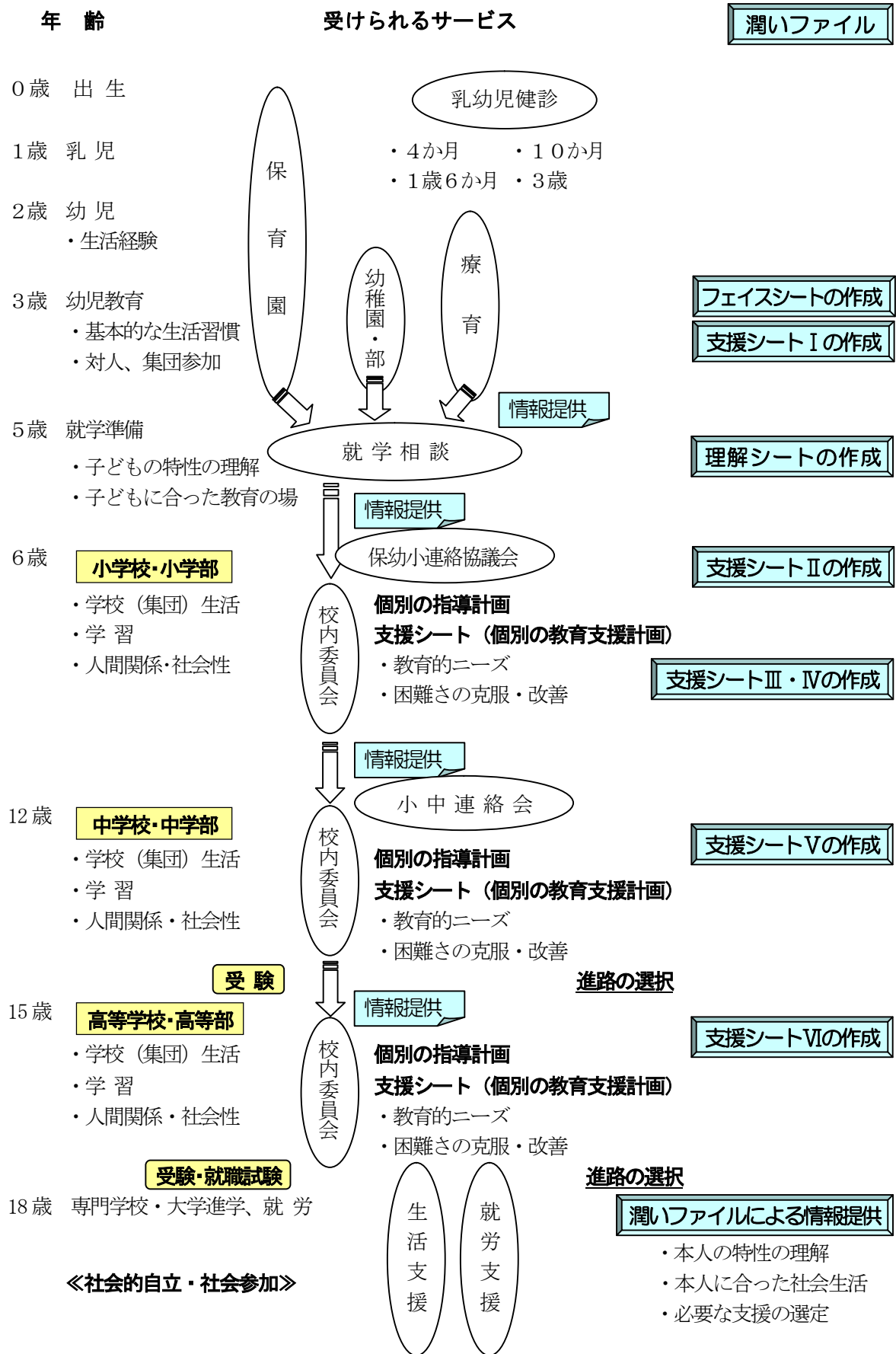
これらのシートの作成時期は、年齢に応じて受けられる支援とリンクしていません。次のページの作成例を参考にしてください。

～ 目 次 ～

- 1 「潤いファイル」について
- 2 「潤いファイル」の内容
- 3 支援の流れと「潤いファイル」の活用例
- 4 「潤いファイル」の活用について
- 5 フェイスシート
- 6 理解シート
- 7 支援シートⅠ（幼稚園・幼稚部、保育園、療育機関等）
- 8 支援シートⅡ（小学校・小学部低学年）
- 9 支援シートⅢ（小学校・小学部中学年）
- 10 支援シートⅣ（小学校・小学部高学年）
- 11 支援シートⅤ（中学校・中学部）
- 12 支援シートⅥ（高等学校・高等部）
- 13 シートの記入方法
- 14 困ったときの連絡先

2009.3

支援の流れと「潤いファイル」の活用例



「潤いファイル」の活用について

お子さんの情報は、成長とともに増えます。「潤いファイル」のシート以外にも、検査結果の詳細、個別の指導計画などの必要な情報はファイルしてください。そして、ご家庭で大切に保管し、支援機関との情報交換等に役立ててください。

「潤いファイル」の活用にあたってのお願いは、次のようになります。

保護者の方へ

- 「潤いファイル」は、教育委員会学校教育部指導2課、保健福祉局福祉部障害福祉課及び特別支援教育相談センターで発行します。
- 特別支援教育相談センターの教育相談を受けている方は、発行の際に過去の支援情報等を収集します。
- 「潤いファイル」は、保護者又は本人が管理します。
- 支援機関等への「潤いファイル」の提示は、保護者又は本人が決めます。
- 「潤いファイル」の各シートは、教育委員会のホームページからダウンロードできます。ページを追加したい場合にご活用ください。
<http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp/>

支援機関の方へ

- 個人情報の取扱いについては、十分な配慮をお願いします。
- 「潤いファイル」へ必要事項の記入をお願いします。
特に、学校においては支援シート（個別の教育支援計画）に記載する時期がありますので、保護者と相談しながら作成してください。
- 情報は、他の支援機関の方と共有することをご承知ください。

